

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	総務事務センター	氏名	黒田 恭平
派遣先 団体名	出雲市四絡コミュニティセンター		
① 研修の日時			
7月 6日(月)	コアラフリーデー、小原 流 生 け 花		
7月 8日(水)	タブレット講座、社会福祉協議会		
7月22日(水)	パソコン教室、笑いヨガ、夏祭り実行委員		
8月10日(月)	広報配達、池坊生け花		
8月15日(土)	夏祭り		
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)			
【コアラフリーデー】			
保健師を招き、0～3歳の子を持つ親とその子が相談や交流をする会。毎月1回開催される。情報交換はもちろん、おもちゃ等が用意されており、子ども同士で遊ぶ姿も多く見られた。参加された方に話を伺うと、初めての子育てに不安な方が多く、先輩や同じ境遇の人と話せるこの会はとても助かるということだった。受付から片付けまで住民によって行われており、途中でケンカする子どももいたが、親を含め周りが笑って上手に収めていたことが印象的だった。			
【生け花(小原流、池坊)】			
2つの流派の先生を招き、四絡小学校の生徒を対象として月曜日にそれぞれ隔週で行われている。今回は2流派とも体験させていただき、出来はさておいて、私も実際に生けさせていただくことができた。始めて数回の子どもも、学年を超えて周りの友達と楽しそうに生けていた。先生から事前に課題と生け方は教わるが、花の配置や技法等は好きにやってみると、個性的な作品が出来上がっていた。終わった後は子どもたちが積極的に片付けを行っており、ただ生けるだけではなく、そういったことも含めて学んでいるのだと感心した。			
【タブレット講座】			
ドコモショップの店員が来館され、タブレットの使い方を分かりやすく説明された。定員20人の枠がすぐに埋まるなど、非常に多くの方が参加され、慣れない様子ではあったが試行錯誤しながら操作されていた。参加者には年配の方が多く見られた。年配の方はスマートフォンに興味がないという勝手なイメージを持っていたが、実際には興味を持つ方が多くいらした。こういった先入観を覆すような企画は新しいことに興味を持つ契機にもなり、企画によっては趣味や生きがいにも繋がる重要なものだと思った。今回は第1回だったが、好評につき次回も計画するようだ。			
【社会福祉協議会】			
保健師により、主に高齢者を対象として、熱中症の予防や対処に関する講義をされた。高齢者や子どもは熱中症になりやすいようだ。熱中症は重症度の段階があり、それぞれの段階に対する処置が異なっているという説明を参加者は熱心に傾聴されていた。重症度が高い場合はすぐに救急車を呼ぶようと言われると、過去に救急車はためらって呼べなかったとの声も上がった。事前に講義を受けることで、いざという時には正しく動ける。特に単身で生活されている高齢者にとっては前もって学んでおくことは身を守るためにとっても重要なことだと思った。			

【パソコン教室】

週2回開催されるこの教室では、住民の方が講師を務め、出席者は各自のノートパソコンを持参して学習する。今期はエクセルを使用したグラフ作成が主題のようで、それぞれが教科書を見たり質問をしながらパソコンに向かっていった。講師の方が同じ地域住民ということもあってか、良い意味で堅苦しくなく、ゆったりとしていた印象を持った。

【笑いヨガ】

インド発祥の健康法で、大声で笑うことに特徴がある。日本笑いヨガ協会から講師を招き、年配の方が多く参加されていた。全員で輪を作って笑うという独特な光景が広がっていた。単身で生活されている高齢者の方が少なくなく、大きな声を出し、体を使ってコミュニケーションをとる本講座は住民同士での近況確認や交流をする上で効果の高いものであった。

【夏祭り実行委員】

夏祭りについての最終調整の場に参加させていただいた。夜開催され、大ホールいっぱい各地区の委員の方が集合し、仕事終わりの方も多く見られた。各ブース責任者や設備責任者等、それぞれが指揮を執り当日の段取りを確認されていた。地元地区の祭りには参加したことがあるものの、祭り当日の裏では準備段階から当日に向けて大人数で綿密に計画が練られていることを改めて認識した。

【広報配達】

毎月2回(10日と25日)に広報を地域住民に配達する。実際は自治委員の家に投函して、その地区の住民に配っていただく流れになるが、それでも1日かけて車で配達しなければならない。当日は非常に暑く、休み明けということもあり、休み前に配達準備していた広報同士がインク溶けによりくっつくというハプニングもあったが何とか配ることが出来た。私は午前中だけ同伴させていただいたが、非常に複雑な道にも関わらず、重複して行き来しない最短ルートが職員が考えて回っているらしく、無駄のない運転に感動した。車で回ってみて思ったことは、新しい家がとても多いということ。住みやすく、この地域に移ってくる人が多いことが街並みを見て認識できた。

【四絡夏祭り】

出雲ドームで毎年行われる夏祭り。地域をあげての一大イベントだ。当日朝から職員や地元消防団の方々にコミセンやJAから机や機材を運んで設営した。毎年恒例だからなのか、皆さん非常にテキパキと動かれ、例年と違う所も多々あったにも関わらず、事前の打ち合わせが密にされていることもあり、私が手伝うことがほとんどないほどだった。天候が心配されたが、多くの来場者を迎え、盛大に盛り上がった。地域の幼稚園～高校生がそれぞれ催し物を行い、普段では見ることの無い姿を地域の人が見ることで地域としての一体感を感じたことだろうと思う。私はブースで焼きそばやたこ焼きと一緒に和気藹々と調理させていただいた。地域の子どもも運営に携わっており、その一生懸命にはたらく姿を見て、今後の地域を支えてくれる力になるだろうと感じた。大人だけでなく、今後を担う子どもも裏方として参加するのは非常に意味のあることだと思う。それぞれが協力し合い、祭り終了後の片づけも瞬く間に終わった。こういった一大イベントを内部から見ると地域の活気が一番分かりやすいように感じた。

③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

人口減少が進む昨今、四絡は人口が増加している特異な地区である。そんな中、公設公営の四絡コミセンでは様々な企画を考え、地域との繋がりを持っていた。田村センター長からたくさんのお話を伺ったうち、四絡地区で人口増加が進む理由は病院や商店、学校、道路といった生活基盤の充実に加え、住民の地域への貢献性も大きく寄与していると分かった。ここまでインフラが整備されたのも土地を提供する人があったこと。

人口増加の一方で、課題も散在していた。四絡は持家比率が県全体と比較すると約30%低く、短期間の居住者が多い。また、若者世帯や単身赴任世帯が増えており、自治体加入率が低下しているとのこと。これにより、地域活動の停滞や災害時の情報連絡確保の問題が発生する。災害時の連絡確保や避難優先順については、実際にコミセンで苦慮されているようだった。市だけでなく、住民により身近な存在としてコミセンがあるが故の課題と言える。住民が集まって親睦を深める場所というだけでなく、こういった課題にもコミセンは向き合う必要があるのだと思った。

そもそもコミセンとは何か…？の状態に参加させていただいた研修であったが、研修前に漠然と持っていた「祭りをするイメージ」という考えは研修後には相対的に小さくなった。コミセン内では毎日多くの行事が行われていた。一番感銘を受けたのは、住民が自主的に動いていたことである。当初は、コミセン側で企画し、職員が1からすべて行い、住民はそれに対し受動的であるというイメージを持っていたが、四絡コミセンでは全く状況が違った。職員は企画したり、場所を提供する。それから先は住民同士で形成されているのだと強く感じた。もちろん職員は良い挨拶で住民が動きやすいよう支えている。例えば、コアラフリーデーでも実際に動いているのは地域住民であり、その場に職員はいなかった。紙芝居をしたり歌を歌ったりと進行も積極的に住民が行っていた。こういう動きが地域の結束を強め、住民が地域を作っていく礎になっていくのだと感じた。地域を作るのは最終的にはその地域の住民であり、行政職員として、住民がその地域を好きになり、地域を作っていきたいと思ってくれる力になりたいと思う。いくら生活基盤を行政が整えたとしても住民がついてきてくれなければ発展は見込めないと思うからだ。

四絡コミセンはホームページの更新も熱心にされており、イベントの写真はすぐにアップされている。小さなことかもしれないが、それが地域住民の関心を煽り、四絡という地域に興味を持ってもらう一助になっているのではないか。人口が増加している四絡地区において、「人口が増えてからこそ今何かをしなければならぬ」というセンター長の言葉がとても印象に残った。

現在の職場では、直接県民と接する機会がほとんどないが、住民と一番近い距離にあるコミセンで研修が出来て大変勉強になった。自分が何かを直接することも大事だが、あわせて県民が自発的に何かをしたいと思えるような島根県に出来たら良いと思った。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)
お忙しい中、センター長、チーフマネージャー、職員及び地域住民の皆様にはいろいろとご配慮いただき、充実した研修になったことを感謝申し上げます。大変お世話になり、ありがとうございました。

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。